

# 2月11日(木・祝)

(建国記念日)

午後1時より開場

午後1時半より

時節柄、お食事を用意しておりません。\*お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

## 大般若祈禱会

●厄払い ●所願成就 ●星まつり

【ご来場される皆様へ】

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。

お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
- ・ご来場の際はマスクを着用してください。
- ・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

新春福引大会は、新型コロナウイルス感染症のため、今年は開催を見送りたいと思います。来年は、皆様にお楽しみいただけるよう準備しております。

# 道しるべ

宮の森 大乘院

令和三年 新年号

大乘院寺報 令和3年1月  
〒064-0958  
札幌市中央区宮の森1263-3  
電話(011)641-8904  
FAX(011)631-0004  
E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp  
第82号

### 活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

#### 子ども空手教室

心と体を鍛えましょう  
毎週月・木・土曜日  
午後5時より お寺



2年連続全道大会優勝。共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょ!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。

#### 坐禅会

体と心を調えましょう!  
毎月1日・15日  
午前7時より 参加無料



忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

#### ご詠歌

仲良く楽しく  
唱えましょう  
毎週金曜日  
午後1時より 会費あり



ご詠歌を聞かれた事はありませんか?亡き人への追憶の思いに涙があふれてきます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

#### 令和3年(2021年)行事とお参り

1月 1日 (祝)	元朝祈禱会
2月 11日 (祝)	大般若祈禱会
3月 11日 (木)	大震災慰霊供養
3月 20日 (祝)	春彼岸中日法要
5月 第2・3日 (日)	花まつり
7月 下旬	子ども坐禅会
8月 15日 (日)	新盆万燈供養
8月 20日 (金)	お盆大法要
9月 22日 (水)	秋彼岸中日法要
10月 10日 (日)	両祖報恩会
12月 8日 (水)	釋尊成道会
12月 31日 (金)	除夜法会

#### 令和3年(2021年)年忌表

1 周忌	令和 2 年
3 回忌	令和 元 年
7 回忌	平成 27 年
13 回忌	平成 21 年
17 回忌	平成 17 年
23 回忌	平成 11 年
27 回忌	平成 7 年
33 回忌	平成 元 年
37 回忌	昭和 60 年
50 回忌	昭和 47 年
100 回忌	大正 11 年

## 端光祥春

(住職挨拶) 住職 田中清元

新年を迎え、誰もが不安と怯えを秘めて迎えているかと思えます。心から「おめでとう」と言えない異例のお正月。実は、だからこそ元氣と笑顔で、「今年こそは」と奮起するお正月でもあります。

残念ながら昨年は、全世界的に未曾有の経験をした年でした。新型コロナウイルスの蔓延は、世界的には罹患者七千万人、死者百六十万人、日本でも罹患者十八万人、死者二千六百人を数える。しかも未だ増加の一途です。同時に、全ての社会、経済活動の停滞を招き、一時は世界全体が恐怖と絶望に覆われたかのよう。

この世界と同じ現象が、身近にも起きている。コロナ感染で他界された人、いまだ病床に伏せる人、失業、倒産に苦しむ人。冠婚葬祭の自粛や規制に苦しむ人。昨年、当たり前だったことが何も出来ない、異常で過酷でどん底な年だったと云えよう。

しかし、令和三年は違います。新型コロナウイルスの予防ワクチンが確実に普及し、早晩、全ての人々と社会機能が、新型コロナ以前に動き始めるのは間違いない。

人生も社会活動も必ず浮き沈み、山や谷があるのは必定です。どん底からは、ただ上昇するのみ。かつて世界大戦、ペスト(黒死病)の後、人類は辛酸を舐めた経験と知恵で克服、成長したことを、歴史は教えてくれています。

## 賢人の言葉

一陽来復(いちようらいふく)  
長い人生、いつも心楽しいことばかりではない。窮境に立つという事は、身をもって知る尊いチャンスではあるまいか。得難い体得の機会ではあるまいか。そう考えれば、苦しい中にも勇気がでる。元気がでる。思い直した心の中に新しい知恵がわいてくる。そして、禍を転じて福となす、つまり一陽来復暗雲に一寸の陽がさしこんで再び春を迎える力強い再出発への道がひらけてくると思ふのである。

壁を乗り越えた時、それは自分を守る盾となる。コロナ禍を乗り越えるには、この精神が大切と感じています。事務局 橋坂慎龍 合掌

端光祥春とは、めでたい光が訪れる春をお慶びするとの意味。新年は大きな変わり目。予防ワクチンという光明が差し、誰をも奮起させるは間違いないでしょう

この大きな転換期を乗り越えましょう。過去を悔やみ縛られていては前進出来ません。転換とは変わることです。「全ての人に備わる力」とお釈迦様は教えています。「人々悉く道器なり」螢山禪師、それを眠らせてはいけません。

昨年の「道しるべ」新年号で綴った禅語をあえて繰り返します。「日々是好日」(毎日毎日が素晴らしい)。悔やみ嘆き、怒っていても何も見えなくなりません。喜怒哀楽を在るがままに享受することで、広い視野と展望が生まれます。そして生きることへの感謝も。

数千年、仏教は多くの人を救済してきました。今も同じです。辛く悲しい時、ひとり悶々とせず、お寺にお詣りに来てみませんか?きつと、無言の微笑に救いを見つけることが出来るでしょう。

今年が、皆様にとって、新たな希望と飛躍に彩られ、笑顔と健康に満ちることを心からお祈りします。

令和三年 元旦 合掌



## 葬儀はお寺へ相談を!

最近では家族葬のように小規模な葬儀をされる方が増えておりますが、実際にかかる費用は決して安くありません。(お寺への葬儀に関するご相談も金額についてが多く寄せられております。)お寺では精神面はもちろん、金銭面でもお支え出来るお寺葬をご用意しております。ぜひ一度、お寺へご相談下さい。

宮の森 大乘院 薬王寺  
TEL:011-641-8904 FAX:011-631-0004  
Email:yakuou@triton.ocn.ne.jp

6 HTB 北海道再発見! LOVE HOKKAIDO 土曜 午前11時10分~

薬王寺住職が当寺院の世界一の大きさと言われる大鑿(だいせきん)の取材をHTBの番組「北海道再発見! LOVE HOKKAIDO」から受けました。2021年1月23日(土)午前11時10分~放送予定。

SOTO禅 ZEN x SDGs SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs」(エス・ディー・ジーズ)は「Sustainable Development Goals」(サステイナブル<持続可能な>・ディベロップメント<開発>・ゴールズ<目標>)の頭文字を集めた言葉です。薬王寺では、SDGsの理念である「誰一人取り残さない社会の実現」を「菩薩の誓願に生きる信仰実践」として全僧侶でSDGsへの取り組みを力強く進めています。

## 護持会費のお願い

お寺を支える大切な会費です。「年間一万円」を皆様にお願ひ致しております。月命日やお盆等でお詣りに伺った時や、寺報等に同封されている振込用紙を御利用いただき御納め下さい。ご不明な点はお寺までお気軽にお問い合わせ下さい。



# お寺のできごと

9月22日

## 秋彼岸法要

昼夜の長さが同じになる秋分の日、日本堂と新本堂で行われました。  
山内関係者のみですが、心落ち着かせ手を合わせて皆様の御先祖様へ感謝報恩の御焼香を致しました。

## 多宝塔供養法要

秋期の多宝塔(永代供養墓)供養法要がコロナ禍の為、山内で執り行われました。紅葉に包まれた多宝塔に向かい手を合わせ御焼香し、宮の森の大自然のもとに眠る大切な方へ思いを寄せました。



10月10日 開山忌

素晴らしい秋晴れの中、法要を行いました。コロナ禍の中でしたので、感染予防対策を行いながら、皆様が御参詣下さいました。心より御礼申し上げます。

## 北海道開拓殉難者慰霊供養



一昨年で百五十年を迎えた北海道開拓の歴史の中で礎となり、尊い命を犠牲にされたアイヌ先住者、韓国朝鮮、中国出身者の方々の慰霊供養。先代様の代より、境内地に「北海道無名開拓殉難者慰霊之碑」を建立し、いままなお韓国や中国の寺院と親善交流を深め、慰霊を続けています。  
慰霊碑にお供えをして、開拓殉難者の御位牌を本堂に祀り勤修致しました。

## 御法話(感謝に生きる)

昨年引き続き、芦別市大興寺御住職の田中貫志師(北海道宗務所布教師)がお勤め下さいました。ご本人の永平寺で修行中のエピソードをもとに道元禅師様のお言葉、「真実内徳のうしに人に貴びらるべからず」、勤めている大休寺の前住職(故)永井老師のお言葉「正直に生きる」を、コロナ禍の中、この大変な御時世だからこそ自分の心を見つめて正しい生活を送ること、そして表面だけではなく内から心を正す事、人と素直に向き合う事、報恩感謝の大切さをわかりやすくお説き下さいました。

## 二十三回忌を終えて

石狩市 志田豊枝様



先日10月25日、無事父の二十三回忌法要を終えることが出来ました。お寺とのご縁は、父の葬儀の時でした。新潟に先祖のお墓がありました。遠いので、いつもお参りが出来る大乗院にお世話になることにしました。

父の伯母は、曹洞宗の尼僧で、新潟で住職をしていたので大変嬉しく思いました。父が幼い時、永平寺に一緒に遊び、当時の貫首様に肩車をして頂いたり、手をつないで永平寺の中を案内してもらったそうです。亡くなる年に、永平寺を訪ねた時の事を懐かしそうに話してくれました。きっと父が、現住職や若様達が修行なされた永平寺と近い薬王寺に導いてくれたのだと思います。

初めてお寺に伺った時、東堂様(先住職)の優しい笑顔と大きな笑い声に、ほっとして心が温かくなったことが昨日のように思い出されます。家族で毎回お寺の法要に楽しく参加させていたと思います。特に、今の清元住職様から誘われて、母と二人で参加したお寺の旅行はいつも毎回楽しい思い出がいっぱいです。永平寺に宿泊し、法要や坐禅など貴重な経験をさせて頂きました。母と最後に参加した旅行では、清水寺の坂を東堂様と並んで車いすをハイハイしながら押したことを懐かしく思い出します。今は、両親が亡くなってから生まれた、私の又甥姪の子供が一緒にお墓参りに来ています。宮の森のお寺が大好きで、金魚への挨拶と、鐘撞きを毎回欠かしません。いつもお寺のご住職初め、皆様の優しい笑顔と声かけに感謝しています。コロナが落ち着いたらまた笑顔でお寺の法要に家族で参加したいと思えます。



「座禅会に参加して」  
札幌市中央区 辻美香様

私自身、座禅が大切であることを痛感しています。月2回(毎月1日と15日)とても清々しい大切な空間と時間を提供していただき、感謝します。  
仕事に追われ、時間に追われ、毎日を一生懸命に過ごしてききました。お金を稼ぐ。それが幸せということなんだと勝手に思いこんでいました。自分を見つめなおすきっかけとなり、気づきを与えてくれたのは、義弟の死。私にとって幸せとは何か。価値がお金ではないことに気が付きました。座禅に参加し何か心のゆとりが得られればと思い、夫を誘い車を走らせました。また、悲しみから逃れたかったのも事実です。  
座禅に参加するようになり、朝のすがすがしさも改めて感じました。鳥の鳴き声、風の音、虫の声、四季折々の山の匂い。薬王寺は自然をとても感じられる素敵な場所でもあります。私は、座禅で「無」を意識しますが、最初は難しくなかなかできませんでした。普段考えていること、感情、雑念が次から次へと思いつかびます。本当にささいなことから悩みごとまで。普段の思考がいかに雑念だらけなのかを思い知らされます。いつもそのような心の状態であることに気がつかず、心がパンクしてしまっていたのではないかと思います。  
「坐禅は、身と息を調えること」で、心が調ってくる」と、ご住職に教えていただきました。まさに、不安に駆られるこのご時世に必要な時間ではないでしょうか。  
いつも優しくご指導くださり、本当にありがとうございます。感謝

## 報恩会



「ほうおんえ」と読みます。正式には「両祖忌」と呼ばれる法要で、大本山永平寺を開かれた道元禅師様と、大本山總持寺を開かれた瑠山禅師様の御遺徳を偲び行われる報恩感謝の法要です。  
大勢の御随喜を頂いて



御導師の御住職が厳粛に勤められました。続いて、この有り難い御法縁にちなみ、御志納頂いた皆様と、御塔婆を申し込まれた皆様の先祖供養を執り行い、皆様にご焼香頂きました。

12月8日

## 成道会〜お釈迦様お悟りの日

十二月八日、本年最後の大法要。御釈迦様が菩提樹の下でお悟りを開かれた事をお祝する法要です。若方丈導師に執り行われました。



終戦七十五年に因み、太平洋戦争開戦記念のこの日、午前十時より諏訪神社の前田伏樹宮司と札幌神職青年会皆様との神仏合同で、塔内に眠る四千年の戦没者の御霊のために慰霊供養を行いました。

## 月寒忠霊塔〜戦没者慰霊供養

皆様はじめまして。このたびは父の葬儀にあたり、急な相談、お願いにこ対応いただいた薬王寺様とのご縁についてお話しをさせて頂きました。  
家には先祖代々の墓は無く、私自身も単身で両親も高齢となり、将来どうしようかと思いつつも時が経っている中、朝のニュース、天気予報で薬王寺様のCMが目に入り、比較的近い所だったため思い立って見学。パンフレットをいただきに行きました。その際に、家族の事情、金銭面でも相談させて頂きました。それから1ヶ月程経った朝に父が急死し、どうしよう...と考えている中、薬王寺様とお話ししていた事を思い出し連絡したところ、すぐに葬儀屋さんの手配等も全てしていただき、滞りなく全てを行うことができました。日頃から特に信仰も無く、どうしていいかわからない中、葬儀屋さんにも細かいことを教えていただいたり、コロナ禍のため、通夜のあとは会食せず、父を1人にするのに心苦しい気持ちもありましたが、お寺の中なので本来何も心配することもなく通夜を過ごすこともできました。お骨については、今後継ぐものがないので、永代供養塔へ納骨をお願いしました。今回改めて、葬儀や納骨等について、その時にどうしよう...と不安になるよりも、事前に金銭的な面や将来のことについてイメージすることができて良かった、安心して葬儀を行うことができましたと思っております。ちなみに、父の場合は葬儀も永代供養も含めて当初予定の半分位で全てを行うことができました。葬儀に参加していた親戚も「こんなお葬式がいい」と言ってくれました。今回は薬王寺様、その他葬儀を行うに際して携わっていただいた方々のおかげで滞りなく全てを行うことができました。いづれは母や私自身もお世話になりたいと思っております。  
コロナ禍で生活様式や人との係わりが色々な面で見直され、気分も落ち込む状況ですが、皆様も心も身体もコロナに負けず、お過ごしいただけますようにお祈り申し上げます。

# 2月11日(祝) 大般若祈禱会のご案内

午後一時開場 午後一時半より  
三蔵法師直伝の「大般若経」で  
平和を願い、厄を払い、  
所願成就を御祈禱します

孫悟空の「西遊記」で有名な三蔵法師が、十七年の歳月をかけ、インドから中国に持ち帰った六百巻からなる大経典です。その貴重な経文を転読(左右前後に振る事)し、平和な世界、人々の除災招福を御祈禱致します。またその風にあたると一年間は無病息災になると言われています。大般若の寿風に接してみましよう!

## 厄払い | 御祈禱料五千円

厄年とは運氣が下がり災難に遭いやすい年です。大きな節目の年で身体の変化にも気を付けなければならないと云われ、仏天の御加護を頂き、厄災が降りかからないように御祈禱します。  
厄年早見表を御確認頂き「本厄・前厄・後厄」を御記入下さい。ご家族以外の方でも、遠方にお住いの方のお申込みも出来ます。

	前厄	本厄	後厄
男性 61歳	昭37年生	昭36年生	昭35年生
男性 42歳	昭56年生	昭55年生	昭54年生
女性 37歳	昭61年生	昭60年生	昭59年生
女性 33歳	平2年生	平元64年生	昭63年生
男性 25歳	平10年生	平9年生	平8年生
女性 19歳	平16年生	平15年生	平14年生
幼児 4歳	令元31年生	平30年生	平29年生

令和3年「厄年」早見表  
※年齢は数え年、今年誕生日の年齢プラス一歳です

## 所願成就 | 御祈禱料三千円

今年、特に願われることを御祈禱致します。同封の申込用紙の御祈禱項目よりお選び頂き、御記入下さい。併せて皆様には御家族全体の無事を祈る「家内安全」のお札もおすすめ致します。複数のお申込みも出来ますが、一祈願ごとの御祈禱料がかかります。

## 星まつり | 御祈禱料千円

個人の一年間の幸福と無事を祈り、災いから身心を守る御守りです。

【お申込み方法】  
同封のお申込書に御祈禱項目(厄払い、所願成就、星まつり、ご志納)を御記入のうえ、ご供養料と一緒に御祈りに伺った時にお渡し下さい  
ご記入いただいた申込書を同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送いただき、ご祈料は振込用紙(郵便局)にて御納付下さい。  
☆当日ご参詣できなかった方には、後日おふだを御郵送致します。

ご郵送の場合



## 御志納供養 | お志し

ご志納頂いた皆様の御名前を本堂に掲示し、読上げの先祖供養をお勤め致します。

札幌市中央区 乙戸芳枝様